

第14回(通算1672回)例会報告		令和6年10月11日(金)	社会奉仕担当例会
ゲスト	米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん		
ビジター	浜松RC: 2名		
出席報告	総会員数56名(計算会員数52名) 欠席12名 出席率76.92% 前々回修正出席率89.36%		
歌/会場	それでこそロータリー	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~	

黙 禱



本多英司会長
既にみなさんご存じ事と思いますが、私たちの仲間 豊橋ゴールデンロータリークラブ会員の小嶋和四郎氏が10月7日午前11時43分、お亡くなりになりました。享年55歳という若さです。突然の訃報に驚いています。

例会に先立ちまして、同じクラブで活動した友人として、哀悼(あいとう)の意を込め、黙とうを捧げたいと思います。みなさんご起立をお願いいたします。

それでは、黙とう。

(1分間)

ありがとうございます。おなおりください。

会長の時間



本多英司会長
みなさんこんにちは。

小嶋和四郎会員は休会が長かったため、お会いしたことがない会員もいらっしゃるはずなので、少し、小嶋会員の足跡を紹介させていただきます。小嶋会員の入会日は2009年7月3日。実は、私と

同じ入会日であります。この日、彼と一緒に入会式をしていただきました。15年前ですが、一緒に並んで写真を撮り、順番に、この演台に立って入会のスピーチをしたのを、鮮明に覚えています。その後 職業奉仕委員長などを歴任し、クラブの発展のためにご尽力いただいたのですが、2015年から体調不良のため休会されていましたが、いつか戻ってこれると信じていたのですが、こういう結果になってしまい、とても残念です。あらためて、小嶋和四郎会員のご冥福をお祈りいたします。

悲しいスタートとなってしまいましたが、いつも通り例会を進行いたします。

今日は、お二人のビジターがおいでくださいました。浜松ロータリークラブの松坂直和さんと水野久美子さんです。ようこそ豊橋ゴールデンロータリークラブへ。お二人とも浜松商工会議所青年部にいらっしゃったメンバーで、私が現役時代にとってもお世話になったお二人です。久しぶりにお会いできて、とても嬉しいです。

今年は、当クラブにビジターできていただいた方には、自己紹介を兼ねてお話をさせていただいております。松坂さんと水野さん、お願いいたします。

(松坂氏挨拶)

(水野氏挨拶)



ありがとうございました。松坂さん、水野さん、豊橋ゴールデンロータリークラブの例会を楽しんでください。

本日のプログラムは「社会奉仕担当例会」です。我がクラブの熱い男、保永委員長の卓話です。保永委員長、よろしくお祈りいたします。

以上、会長の時間でした。ありがとうございました。

米山奨学金贈呈

米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん



誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！



本多英司会員 牧野政雄会員 鵜殿健次会員

入会記念日祝い



伊藤角栄会員 鵜殿健次会員

会員スピーチ「波瀾万丈の人生について」



宮川嘉隆会員

波乱万丈というテーマにてお話をさせていただきます。

私のような若輩者が人生の波乱万丈などと、大層なお話をさせて頂くには難易度が高いテーマで大変悩ませていただきました。このテーマを選ばれた高橋プログラム委員長には心よりの感謝を申し上げます。

実は、私の人生においてとっておきの波乱万丈なエピソードが一つあったのですが、バンコクでのパスポート紛失事件については、本年の年男放談でお話をさせて頂いてしまったので、あえなく断念。

今回は、私が少しばかり嗜んでいる「ゴルフ」について「波乱万丈」をテーマにお話をさせて頂きたいと思います。

ゴルフの世界は、予測不可能な出来事で満ちており、まさに「波乱万丈」という言葉がふさわしいスポーツであります。この表現は、非常に大きな変化が幾度となく起こることを意味し、ゴルフにおいては、一打一打にドラマがあり、予期せぬ展開がプレイヤーを待ち受けています。例えば、突然の天候の変化、予想外のプレイヤーの台頭、あるいは大会の結果を左右する一打など、ゴルフは常に変化に富んだスポーツであります。また、ゴルフは単なるスポーツではなく、人生の波乱を象徴する舞台であり、その魅力と挑戦は、プレイヤーにとっても観る者にとっても、終わりになき冒険であると言えるでしょう。

なぜゴルフは波乱万丈なのか？

いくつかのエピソードより想像して頂けると幸いです。

奇跡のショット： 困難な状況から、予想外の素晴らしいショットが出て、ピンそばについたり、ホールインワンを達成したりする。

まさかのミス： 易しいはずのホールで大叩きを打ってしまうなど、思わぬミスでスコアを大きく崩してしまう。

天候の変化： 突然の雨や強風で中断になったり、逆に日差しが強すぎて体調を崩したりする。

精神的な葛藤： 焦りや不安からスイングが崩れてしまい、スコアが伸び悩んだりする。

ドラマチックな逆転： 後半に追い上げを見せ、最終ホールでバーディーを奪って優勝を掴み取るなど、ドラマチックな展開を見せる。逆に優勝確実と言われていた展開から最終ホールのトリプルボギーで逆転負けをする。などなど...

そんな波乱万丈なゴルフを楽しむためにどうしたらよいか？

今話題の AI に聞いてみました。

目標を明確にする： スコア、技術向上など、具体的な目標を設定することで、モチベーションを維持できます。

過程を楽しむ： 結果に一喜一憂するのではなく、練習の成果が出たり、新しい発見があったりすることで、ゴルフをより楽しむことができます。

仲間と交流する： 同伴者との会話や、他のゴルファーとの交流は、ゴルフをより一層豊かなものにしてくれます。

ゴルフは、単なるスポーツにとどまらず、人生そのものを映し出すような側面を持っています。様々な困難を乗り越え、成長していく過程こそが、ゴルフの醍醐味と言えるでしょう。

と、いうことでした。いかがでしょうか？

最後に「波乱万丈」という言葉に関連するゴルフの格言をいくつか紹介したいと思います。

「ゴルフは人生の縮図である。」

「ゴルフは 90%メンタルゲームである。」

「ゴルフは常に学ぶものである。」

これらの言葉は、ゴルフの奥深さ、そして波乱万丈な人生との共通点を教えてくれています。

皆さんにとって、ゴルフはどのようなスポーツですか？もしよろしければ、皆さんのゴルフの経験や、印象に残っているエピソードなどを今度お聞かせください。まだゴルフをしたことのない方は、ぜひ一緒にゴルフを試してみませんか？

ロータリーの友読みどころ



尾崎雅輝雑誌副委員長

ロータリーの友、10月号読みどころ紹介させていただきます。横組みの3ページ見出しの中、7ページからの地域社会の経済発展月間、3つ市町が紹介されております。その内容に行く前に、まずは5ページからアーチック会長のメッセージ、今月の24日が世界ポリオデーということで、その根絶に向けて、自分をチームロータリーの応援団長と表し、活動を紹介。

8ページ、米山梅吉氏の故郷、長泉町の話。長泉 RC は9ページ、クラブ創立15周年で町内小中学校の賛同を得て、米山の命日である4月28日を梅山海吉 DAY に制定ということで、児童に奉仕を通じて奉仕の心を学んでもらう活動を続けています。旧記念館、米山文庫子ども図書館として復活されたり、150周年記念して梅吉祭りを開催したり。梅吉氏の歴史が息づいていることが分かります。

次のページ、深谷、渋沢栄一であります。右上の深谷ステーション、深谷駅のレンガはですね、明治に日本煉瓦製造株式会社が設立されたということで、東京駅に模したデザインになっていることが紹介されております。11ページの左の欄、深谷東 RC や深谷ノース RC、深谷 RC が渋沢と関係があるロータリークラブと友好・姉妹クラブを締結している例が紹介されております。

続いて、中津ですね、中津というと、からあげをイメージする方も多いかと思いますが、福沢諭吉ですね。中津 RC、13ページの左の欄には、蘭学の里中津として内外に PR しております。2021年には中津市は、島根県と岡山県の津のつく三市町で同盟を締結したと紹介されております。以上のようにですね、この三つの地域が偉人や名士を通じて他のロータリークラブと協力をしているという紹介でありました。

豊橋で言えば、まあ、例えば近藤寿市郎のように宇連ダム、豊川用水を構想した人物を通じ、例えば、田原のクラブとの連携もできるのかなと感じました。

続いて横組み19ページ、台湾米山学友会の創立40周年の紹介がされておまして、同学友会は2009年、恩返しとして台湾で学ぶ日本人の若手研究者を対象に、学金制度を創設し、支援してきた日本人奨学生は累計61人も上るといって、こうした相互の関係になっている事例があることを知り感動をしたところでありました。

続いて21ページの次のページに大きな写真が載っておりますけれども、来年6月の国際大会、カナダのカルガリー。28、29ページには、市電の載った写真が載っております。カルガリーには北米のどの都市よりも多くの自転車道や散歩道があり、ぜひ行ってみたいという気持ちにさせられます31ページには、12月15日までに登録いただくと割引料金が適用されますと紹介されておりますので、行かれる方はこれまでに申し込みください。

縦組み4ページに移ります。千葉県の大塚町の台風の被害の状況が書かれております。執筆者の災害支援に関

する失敗と後悔について綴られております、ぜひご参考になってください。最後に縦組み19ページに口臭、珍しいテーマなので紹介させていただきます。口の健康には、お互いに気をつけていきましょう。

社会奉仕担当例会



保永真生社会奉仕委員長

本日は社会奉仕担当例会です。30分の卓話をさせていただきますので宜しくお願い致します。

クラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」のもとロータリーの社会奉仕の理念を学び、我がクラブの社会奉仕活動がブランドの一助となる可能性について

①ロータリーにおける社会奉仕とは

我々ロータリアンが個人生活、事業生活、社会生活において奉仕の理念を実践することを奨励、育成することです。

ロータリーの社会奉仕活動とは

地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することを目的としています。

地域社会における積極的平和を目指すことで、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めることを目指しています。

ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が個人として、また事業および社会生活において日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解親善、平和を推進すること

社会奉仕の事例について

【人間尊重】

- (1) 社会的弱者への支援
- (2) 保健、衛生
- (3) 子育て支援
- (4) 社会治安の向上
- (5) 才能ある人の発掘、支援
- (6) 文化活動で心豊かな人づくり
- (7) 災害に備える

【地域発展】

- (1) 産業育成
- (2) 観光の街づくり
- (3) 街並み整備

【環境保全】

- (1) 山、野の植樹・森林の育成
- (2) 河川の清掃(蛍の住むよな清流に)
- (3) 街路の清掃
- (4) 歩行者天国
- (5) クリーンエネルギー

活動に求められること

- ① 活動の意義、地域性、広域性、発信力、費用対効果などを考慮する必要
- ② 活動によって恩恵を受ける人数
- ③ どの様な恩恵を受けるか
- ④ 地域社会に対してどのような長期的好影響が期待できるか
- ⑤ 自クラブのロータリアンは何名参加するか
- ⑥ これらのロータリアンは何をするか

※ (②～⑥)はロータリー財団地区補助金申請書から反映

②過去2年の豊橋総合動植物公園での事業について

2022年度 地区補助金を活用した社会奉仕事業の様子

- ▶ 実施日時 : 2022年11月6日 (日)
- ▶ 開催場所 : 豊橋総合動植物公園 (のんほいパーク)
- ▶ プロジェクト名 : 絶滅危惧種の動物を知ろう!
- ▶ カテゴリー : 環境 (環境教育)
- ▶ 主な受益者 : 一般市民
- ▶ 委員長 : 加藤ゆりこ 会員

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

自然環境破壊、人間都合の乱獲、地球温暖化などの気候変動、海洋プラスチックによる環境汚染、貿易等の増加による外来種の侵入及び生息などの様々な要因により、個体数を徐々に減らし絶滅に瀕している或いは絶滅を危惧されている動物の存在を知ること。

年間90万人の来場者がある「のんほいパーク」内に、絶滅危惧種保全のサインを設置することで、その理解を促すとともに豊橋市と連携して環境保全の啓発活動をする。

動物達が絶滅危惧種に指定されるに至った主な原因

【日本の状況】

- (1) 貿易輸入品や持ち込まれた外来種
- (2) 環境、水質汚染
- (3) タム建設による生態系の破壊 (淡水魚)
- (4) 乱獲による減少 (海水魚)

【世界の状況】

- (1) 今も世界各地で進む開発による自然破壊
- (2) 密猟目的による乱獲
- (3) 海洋、河川の汚染 (排水、プラスチック)

※いずれは人類だけが生存する地球になってしまうのでしょうか？

2023年度 地区補助金を活用した社会奉仕事業の様子

- ▶ 実施日時 : 2023年11月5日 (日)
- ▶ 開催場所 : 豊橋総合動植物公園 (のんほいパーク)
- ▶ プロジェクト名 : 絶滅危惧動物園 出前講座にいざ出陣!
- ▶ カテゴリー : 環境 (環境教育)
- ▶ 主な受益者 : 子ども/青少年
- ▶ 委員長 : 石原聖季 会員

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

昨年、のんほいパーク内に設置した絶滅危惧種動物保全の取り組みを更に深化させ、豊橋市内各小学校に絶滅危惧種の生態を紹介し、生息地域の状況等を子ども達に伝える機会を作ります。

その為に必要な骨格のレプリカや資料等を教育用キットとして作成し、実際に園の職員がより良い授業ができる仕組みを作っていきます。

2024年度 地区補助金を活用した社会奉仕事業の様子

- ▶ 実施日時 : 2024年11月17日 (日)
- ▶ 開催場所 : 豊橋総合動植物公園 (のんほいパーク)
- ▶ プロジェクト名 : 絶滅危惧種動物の保全活動を応援しよう!
- ▶ カテゴリー : 環境 (環境教育)
- ▶ 主な受益者 : 一般市民 100万人以上
- ▶ 委員長 : 保永真生 会員

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

一昨年、昨年は絶滅危惧種に指定された動物たちの事を知ってもらう機会と学びの活動でした。今年度は絶滅危惧種動物の保護、保全、繁殖、自然に還す活動を行うスタッフを紹介することがメインのテーマです。

活動の様子を映像にして、「ひだまり交流館」にて来場者に視聴してもらい、スタッフの方々へ励ましの応援メッセージを贈ることで、これまでの努力への感謝とこれからの活動のエネルギーになっていただければと。

活動をきっかけとして来場者の心にも、環境保全について自分達ができることを考えてもらう機会としたい。

2. どのような恩恵をうけますか。

絶滅危惧種に指定されている日本固有の「ヤマトサンショウウオ」の保護、保全繁殖の状況、「アカモズ」については豊橋総合動植物公園が日本初となる人工孵化、育成を行い、保全と自然に還す取り組みを作ろうとしています。日頃スポットが当たらない部分は来園者には伝わらないので、制作して映像を見て知る事でスタッフの活動や想いを感じて、エールを贈る意味での応援メッセージで少しでも励みとしてほしいという願いをこめて、双方が心あたまよくなるような活動にしたい。

3. このプロジェクトを実施することにより、地域社会に対してどのような長期的影響が期待されますか。

絶滅危惧種となった動物がどの様ないきさつで個体数が減ってしまったのか、その要因は自然現象のものかまたは人工的なものであるかを知り、考える機会とすることで、自然との調和や動物たちとの共存共栄を考え、動物保護の仕組みを考え作るきっかけとしたい。

人間本位な世の中での考え方を変えていくには、とても長い年月を要すると思われるので、全世代の多くの方たちに映像、チラシ、人を通じて想いを共感できる活動を目指します。

③過去2年間の活動を通じて学び得たものと、クラブの「ブランド」の一助となる可能性について

(1) そもそも「ブランド」とはなにかな？

ブランドの起源とは、牛などに焼き印をつける行為で語源は『Brandr (古北歐語)』

自分の家畜と他人の家畜を間違えないよう焼き印を押して区別していた。やがて生産者を識別し食肉の品質や特徴を示す証に発展していった。

(2) 我がクラブの「ブランド」となるもの

A. 会員 (人)

職業上の高い倫理基準をもち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。という奉仕の心を常に学んでいる会員の質が大切。

B. フェロウシップ (努力目標)

仲間を大切に思い尊重し思いやりを持って接する。困っている仲間がいれば手を差し伸べてあげる。利他の心をもって接する。人の良いところを見つけて好きになる努力をする。総合してクラブ内の「和」が形成されていることが大事。

報 告

ファイヤーサイドミーティング

高井龍雄ラーニング委員長

10月7日、9日、10日の3日間
会場「炎や」で開催いたしました。



C. 例会（コミュニケーション）

- ※1年で約46回の例会で行われるプログラムでは、各分野において**利他の心を学ぶ**貴重な機会。
- ※ロータリーの例会場で普通に耳にする言動の中には**奉仕の心が溢れて**いてまるで異空間。
- ※「クラブのために」「委員会のために」「会長、幹事のために」**恩恵を受ける人々のために**などなど
- ※自分軸での言動ではなく、**利他の心と愛ある思いやりの心**が溢れて出しているのが例会場です。
- ※仕事にも家庭にも奉仕の心は自らにも喜びをもたらしてくれます。自ずと人間関係もよくなり自らの魂の質も高めてくれます。

D. 委員会

委員長を中心として企画、立案から活動計画を作成。意見交換してより良い事業に結びつけていく過程での**親睦**を目的。（委員会活動）
経験豊富な先輩方の意見を尊重し、新しい会員の意見も積極的に取り入れることでクラブ内の空気も良くなり、価値あるものを見出し**面白さ**がある。（委員会 ⇒ 理事会へ議事提案書を提出）

E. 活動

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (1) インパクトのある活動を行う | (クラブの結束が深まる) |
| (2) 広域性、地域性を活用 | (クラブ名と事業が伝わっていく) |
| (3) 恩恵を受けられる人数 | (口コミは最善、最大の広告になる) |
| (3) 費用対効果 | (浄財による価値ある活動にする) |
| (4) 継続性 | (単発事業では自己満足とも取られかねない) |
| (5) 事業による会員の育成 | (事業を通じて感じ得る体感が大切) |

のんほいパークでの活動の検証

- (1) 活動の意義
環境保全をテーマとして人々の暮らしと自然を守ることの両立が絶滅危惧種に指定されている動物たちを守ることに繋がっている。人々に自然との共存共栄の意識づけと**未来を創造する**活動である。
- (2) 広域性、地域性、費用対効果
豊橋市を代表する観光地となり昨年の年間来場者数は113万人超で記録更新中。市の設備投資によるパークの充実感は向上しており人気も高く絶滅危惧種動物の保護、保全活動には注目が集まっている。事業の内容は動物園側からの要望とゴールデン側の要望や意見交換をもとに決定。
- (4) 相手側（動物園）の状況
近年では毎年赤字経営で苦しんでおり予算配分も少ない。ゴールデンの3年目となる奉仕活動に大変感謝をしてくれています。

★ニコボックス

松坂直和様・
水野久美子様(浜松 RC)：本多会長、沢山勉強させて頂きます。よろしくお願ひ。
本多英司・鬼頭秀幸：浜松の仲間と久しぶりに会えてうれしいです。また、保永委員長の熱い卓話楽しみにしています。
本多英司・鬼頭秀幸・
高井龍雄・加藤ゆり子・
酒井正樹：浜松 RC より松坂さん、水野さんようこそ！！
牧野政雄・本多英司・
鵜殿健次：誕生日をお祝い頂き。
伊藤角栄・鵜殿健次：入会記念日をお祝い頂き。
宮川嘉隆：会員スピーチをさせて頂き。
尾崎雅輝：ロータリーの友読みどころを担当させて頂き。

保永真生：社会奉仕担当例会です。一生懸命お伝えしたいと思ひます。よろしくお願ひ。
岡本久永：ファイヤーサイドミーティング大変楽しい時を過ごさせて頂き。
加藤ゆり子：ファイヤーサイドミーティング炎や開催ありがとうございました。
井上 穂・杉田和俊・
松島弘和・高橋哲也・
石原聖季・小久保拓吏・
太田和彦：保永社会奉仕委員長ガンバレ。
山口幹夫：ミステリーツアーに参加し小牧空港より花巻空港へ、岩手県、宮城県、山形県、秋田県をめぐり大谷翔平の高校を見てきました。
鵜殿健次：がばんばれドラゴンズ！！
太田和彦：プチゴールデンカップ大変楽しくプレイできました。ありがとうございました。
伊藤角栄ニコボックス委員

★幹事報告

・能登半島豪雨災害義捐金について、ロータリーの友誌10月号掲載記事についてが届いております。

★他クラブの例会変更

- 10月22日(火) 宝 飯RC 豊川RCと合同例会
豊橋北RC クラブフォーラム
- 10月23日(水) 豊 川RC 豊川宝飯RCと合同例会
- 10月28日(月) 豊橋南RC クラブフォーラム
- 10月29日(火) 宝 飯RC 財団補助金事業例会
- 10月30日(水) 豊 川RC 財賀寺開創1300年御開帳
参拝例会
豊橋東RC 桜丘孫便りIAC活動報告
- 10月31日(木) 田 原RC 例会場変更(サイン無)